| 統合科目 II | 可撤性補綴学 |
|---|---|

［講義］ 第３学年　後期　必修　3単位

《担当者名》歯学部教授／越野　寿

【概　要】
　歯の喪失により失われた形態と機能を回復する補綴治療全体の流れと技工操作との関連を理解する。また、修復された口腔の健康を維持するための患者に対する指導について学ぶ。

【全体目的】
　これまでに学習した知識と、臨床実習を通じて学んだ技術を統合することで、無歯顎補綴および欠損補綴の治療的あるいは予防的な意義と有床義歯の在り方を理解し、診査・診断、製作・装着および装着後の監視・処置などの臨床面における診療補助および患者指導を行うための実践力を支える学理を学ぶ。

【学修目標】
☆無歯顎補綴および欠損補綴の目的および意義を説明できる。
☆顎口腔系機能（咀嚼・嚥下・発音）について説明できる。
☆正常有歯顎者の下顎運動、下顎位について説明できる。
☆各種補綴装置について、その適応や構造について説明できる。
☆歯科補綴処置における感染予防対策や器材の滅菌・消毒について説明できる。
☆歯科補綴処置における歯科衛生士の役割・歯科技工との関連、患者に対する指導方法などについて説明できる。
☆部分床義歯の分類法、構成要素の名称とそれぞれの種類および目的を説明できる。
☆部分床義歯および全部床義歯の製作にあたっての臨床ステップを、技工操作との関連とともに説明できる。
☆部分床義歯および全部床義歯の製作前ならびに装着後の患者指導方法、調整方法、経過観察項目や術後管理について説明できる。
☆全部床義歯の構成要素の名称、目的を説明できる。
☆即時義歯、治療義歯などの目的により名称の異なる義歯について、その目的と製作術式の違いを説明できる。
☆オーバーデンチャー、インプラント義歯、顎顔面補綴装置などの特殊な義歯について、その概要を説明できる。
☆咬合接触状態の検査法、下顎運動検査法、咬合音検査法を説明できる。
☆ゴシックアーチ描記法、チェックバイト法、パントグラフ法、電気的下顎運動検査法などについて、それぞれの目的や使用する器材などについて説明できる。
☆在宅寝たきり老人などに対する訪問口腔衛生指導事業の概要について、とくに補綴処置に関連する事項を説明できる。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|---|---|---|---|
| 1 | 補綴学で求められる基礎知識 | ●無歯顎補綴および欠損補綴の目的および意義を説明できる。<br>●顎口腔系機能（咀嚼・嚥下・発音）について説明できる。<br>●正常有歯顎者の下顎運動、下顎位について説明できる。<br>●各種補綴装置について、その適応や構造について説明できる。<br>●歯科補綴処置における感染予防対策や器材の滅菌・消毒について説明できる。<br>●歯科補綴処置における歯科衛生士の役割・歯科技工との関連、患者に対する指導方法などについて説明できる。 | 越野　寿 |
| 2 | 部分床義歯補綴学の基礎から臨床まで | ●部分床義歯の分類法、構成要素の名称とそれぞれの種類および目的を説明できる。<br>●部分床義歯および全部床義歯の製作にあたっての臨 | 越野　寿 |

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|---|---|---|---|
| | | 床ステップを、技工操作との関連とともに説明できる。<br>●部分床義歯および全部床義歯の製作前ならびに装着後の患者指導方法、調整方法、経過観察項目や術後管理について説明できる。 | |
| 3 | 全部床義歯補綴学の基礎から臨床まで | ●全部床義歯の構成要素の名称、目的を説明できる。<br>●即時義歯、治療義歯などの目的により名称の異なる義歯について、その目的と製作術式の違いを説明できる。<br>●オーバーデンチャー、インプラント義歯、顎顔面補綴装置などの特殊な義歯について、その概要を説明できる。<br>●咬合接触状態の検査法、下顎運動検査法、咬合音検査法を説明できる。<br>●ゴシックアーチ描記法、チェックバイト法、パントグラフ法、電気的下顎運動検査法などについて、それぞれの目的や使用する器材などについて説明できる。 | 越野　寿 |
| 4 | 高齢者の歯科補綴治療の基礎から臨床まで | ●高齢者の特徴を概説できる。<br>●在宅寝たきり老人などに対する訪問口腔衛生指導の概要について、とくに補綴処置に関連する事項を説明できる。 | 越野　寿 |
| 5 | まとめ | ●有床義歯補綴領域の知識について自己評価ができる | 越野　寿 |

【授業実施形態】
面接授業
※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】
卒業試験　100%

【参考書】
石橋寛二　他　著　「歯科補綴学（新衛生士教本）」　医歯薬出版
佐藤　亨　他　著　「新・歯科衛生士教育マニュアル　歯科補綴学」　クインテッセンス出版　2012年

【学修の準備】
前年度までの教科書および講義資料、プリントを整理し内容について確認しておく。（20分）
授業ごとに実施した内容を元に復習をする。（40分）